

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-1-2	事業名	妊婦一般健康診査の公費負担拡充				
担当	保健福祉局保健所健康企画課 手塚 622-5151						
全体計画							
事業内容	妊婦健康診査は、母子保健法第13条で規定されている健康診査であり、妊婦の健康を確保するとともに不安を取り除き、安全な出産と健康な子どもの出生のため、異常を早期に発見し、適切な指導を行うため実施しているものである。 この健診費用の一部を公費で負担し、経済的負担の軽減と定期的に受診する環境づくりを行う。			<年度別の事業内容>			
	事業費については、計画期間中の健康診査の公費負担追加に係る事業費のみ計画に計上する(レベルアップ事業)。			【平成19年度】 公費負担回数拡充 妊婦一般健康診査公費負担回数 5回(うちレベルアップ分 4回) 【平成20年度】 助成対象となる健診項目の一部変更 妊婦一般健康診査公費負担回数 5回(うちレベルアップ分 4回) 【平成21年度】 妊婦一般健康診査公費負担回数 5回(うちレベルアップ分 4回) 【平成22年度】 妊婦一般健康診査公費負担回数 5回(うちレベルアップ分 4回)			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	経済的負担の軽減と定期的に受診する環境づくりを一層進めるため、妊婦一般健康診査の公費負担を、1回から5回に拡充した。 1 実施時期 平成19年10月1日 2 実施内容 現行の1回に加え、4回分の健診の公費負担を追加(1回目健診) ・問診・診察、血圧・体重測定 ・尿検査 ・血液学的検査(末梢血液一般) ・免疫学的検査(ABO・Rh血液型、梅毒血清反応、B型肝炎抗原検査) (2~5回目健診) ・問診、診察、血圧、体重測定 ・尿検査 ・血液学的検査 健診の助成回数拡充に伴い、以下の検査、指導の助成廃止 ・出産予定日に35歳以上となる方の超音波検査 ・B型肝炎抗原検査で陽性である方の保健指導 3 実績 ・妊娠届出書受理数 15,342人 ・受診者数(公費負担制度利用者数) 延べ41,253人(うちレベルアップ分延べ26,724人) ・1回目健診の受診率 94.7%(平成18年度92.3%) 4 事業費 ・199,112千円(うちレベルアップ分71,888千円)			妊婦の健康状態を一層把握するため、妊婦一般健康診査の助成内容を拡充した。 1 実施時期 平成20年4月1日 2 実施内容 ・1回目健診にC型肝炎抗体検査、生化学的検査(グルコース)追加 ・3回目健診に生化学的検査(グルコース)追加 ・2回目及び4回目健診の血液学的検査の助成廃止 3 見込 ・受診者数(公費負担制度利用者数)延べ71,820人(うちレベルアップ分延べ57,461人) 4 事業費 ・266,510千円(うちレベルアップ分154,570千円)			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
妊婦一般健康診査公費負担の利用回数		1回	5回	5回	5回	5回	5回(19年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加  企業等との連携・協働 [人材協力]・[情報協力] 妊婦一般健康診査については、市内医療機関に業務委託することで、市民が数多くの医療機関で受診できるようになり、市民の利便性の向上につながっている。 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		1-1-2		事業名	妊婦一般健康診査の公費負担拡充	
評価(成果)				課題		
妊婦一般健康診査の公費助成回数拡大により、世帯の経済的負担を軽減するとともに、いっそう安心して妊娠、出産ができる環境整備を図ることができた。				安全・安心な出産のため、定期的に医療機関等の健診を受診することの重要性について、一層の周知を行う必要がある。		
今後の事業の予定・方向						
厚生労働省より「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方」として、5回程度の公費負担を実施することが原則であるとの考え方が示されたことを受け、平成19年度から妊婦一般健康診査の公費負担回数を1回から5回に拡充した。 今後も現状にて事業の充実を図るとともに、安全・安心な出産と健康な子どもの出生のため、関係団体等と一層の連携を図っていきたいと考えている。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	107,280	151,469	151,469	150,782	561,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他一般財源	0	0	0	0	0
予算	事業費	107,280	154,570	-	-	261,850
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他一般財源	0	0			0
実績	事業費	71,888	-	-	-	71,888
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				40.4%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
全体						
[19年度]						
[20年度] 妊婦一般健康診査の公費負担の対象となる健診項目を4月から一部拡充したため、計画事業費と差異が生じている。						